

**我が家には犬たちだけでなく、猫もいるのです  
今回は我が家の猫騒動!  
聞いてください!**

# VIEW 通信



■とても悲しい出来事が・・・一昨年、現在同居中の家内の両親が埼玉からやってきました。その時両親とともにやってきたのが猫の「チャトル」(茶虎だから?)。猫がいると賃貸物件がとても見つかりません。それで思い切って現在の我が家を購入することにし、二世帯住宅にリフォームしたのが、このチャトルのためと言っても過言ではありませんでした。そのおかげで今は快適な生活ができていますが、...

ところが3月24日午前6時45分突然チャトルが死んでしまいました、...。原因は誤嚥(ごえん)です。まだ10才?くらい。いつも元気に遊んでいた猫が突然のどに何かを詰まらせて、そのまま逝ってしまいました。手の施しようがないまま苦しみがいているところを、ずっと両親は何とか助けようとしていましたが、それもかなわず息絶えてしまったのです。

すぐその日のうちにペット火葬車をお願いし、夕方にはすべて終わりました。我々は両親の悲しみと苦しみがどれほどの物なのかよくわかります。ほんとに慰めようもない状態でした。その日まで毎日のように父のバイオリンを練習する音が聞こえていたのに、さすがにそれもなくなり家の中がとても暗い雰囲気になってしまいました。

■ペットロス・・・特に父はその猫との思い出が走馬灯のようにめぐるらしく、とても辛そうでしたがやっとパソコンで保護猫のサイトを見てみようという気持ちになり、同じ色・体形・顔立ち・年齢の猫がいまいだらうか探し始めました。一日中パソコンにかじりついて探していました。比較的近所に一件見つけすぐ連絡して猫に会いに行きましたが、色や年齢も大きく違い落胆していましたが、数か所保護猫サイトに登録していたのでまた連絡が届いたのです。写真では色も顔立ちもよく似て、父はすぐにも会いに行きたがっていました。そして4月4日午前11時30分、なんとその飼い主の方が我が家に猫を連れてきてくれ、一週間のお試し保育を提案してくれました。

なんとまあ!前の猫と同じ色、そして巨大(7.7kg)、性格もとても臆病でおとなしいとのこと。元の飼い主さんは、猫を7匹飼っていて、その7匹目の子だったので名前は「セブン」、ぜひお試しさせてくださいと頼み置いて行って頂きました。その時の父と母の喜びは幾ばくか、昨日まで暗かった二人がどんだけ変わったか想像できますよね!

■喜びもつかの間、、、実はこれからがまたまた大きな波乱の始まりでした!・・・あれだけ暗かった父が2階でセブンと遊んでいました。でも何かの拍子に驚いたのか2階から階下へダッシュで降りて行ったそうです。父はとて追いつけません。急に降りましたが、どこに行ったのか猫が見つかりません。ちょうどその時母がゴミを外に出そうと少しだけ扉が開いた状態で外にいたのですが、「早く戸を閉めた!」父の叫びに母は驚きましたか、よくわかりません。「早く閉めなさい!」すごい剣幕ですが事情も分からないまま「どうしたのですか?」と聞くと「猫が外に出なかった?」「気が付かなかったけど?」ちょうどその時外から猫の鳴き声が聞こえ、「やっぱり出たんだ!」二人は大慌て!しかしいくら周りを見渡しても見当たらないのです。

以前、前のチャトルの時も何度か脱走し、お隣の車の下に潜んでたりしたことがあったので、ふたりは脱走に神経質になっていました。でも前は飼い猫だったから呼べば逃げたりはせず、えさにつられて出てきたりしましたが今回はさつき会ったばかり、そう考えると二人はきっと目の前が真っ暗だったと思います。でももう一度家の中のどこかにもしかしたら・・・?とか思い探しましたが、全く見当たりません。いなくなったのが午後1時、何とか冷静に市の関係機関とか警察にも行方不明猫の登録をし、母と二人近所を3時間も探しました。猫は半径300~500mが行動範囲と何かで見たらしく車でも探してみましたが全く手掛かり無し。とうとう助けを我々にLINEしてきました。家内はレッスン中、自分は学生家電で超忙しいさなか、LINEに驚いたものすぐには向かえませんが。夜7時に「迷いネコ探してます!」のチラシを50枚作り家内が家に帰りました。

■ご近所さんがみんなで!・・・その後憔悴きついている両親を慰め、チラシを持って家内がお隣さんに事情を話すと、すぐ懐中電灯を片手に出てきてくれました。さらに近所の人にも声をかけてくれなんとたくさんの方たちが心配して出てきてくれました。そしてその中の一人の女性の方はお若いのですがすごくてきばきと事情を聞き、「交通事故のこともあるので明日私が手配しましょう。夜になると猫の行動は何かの下に潜むことが多いですよ。」などの確に指示してくれみんながあたりを探してくれました。しかしすでに8時半を過ぎてしまい、また明日朝から探そうということで皆さんに解散していただきました。「これだけ探してもいないけど、本当に家の中にはいないですよね?」その方にもう一度念を押されましたが、もうすでに8時間を経過しているし、家の中どこを探してもいないので、それはないだろうと言うことで家に戻りました。

■自分は明日のためにチラシを増刷して帰宅・・・自分が家に着いたのが夜9時過ぎ、普通両親は食事も終わっていますが、その日はまだ昼食から食べていないとのこと。これから明日の対策を考えながら暗い食事が始まるかと思うとちょっと憂鬱。こんなに暗い夕食は経験ありません。自分はパジャマに着替えようと思つたらいつものところになく洗面所に置けばなしたと気づき取りに行きました。パジャマを見つけたズボンで脱いで着替えようとしてパジャマを取ったら、ん?巨大なお尻?高さ1m30cmはありそうなタオル入れの上に小さな箱がありその後ろにお尻だけしか見えない生物がいました!「おとうさん!おとうさん!ちょっとこっち!」犬も含めて全員がやってきました!「ちょっと待って俺パンツ一枚!」犬たちは高い所なので見えなかったけど、何か異変を感じて吠えています。ここで逃がしたら大変!犬たちを遠ざけおっと箱をどけるとなんと大きな猫!「ここにいたのか!」父は、嬉しいのか涙声なのか声が裏返っています。それからあとはご想像通り、とんでもないまずい夕食がパーティーになったのです!

■7.7kg。後ろから見たセブン ■前から見ると大きな目のかわいい子 ■我家の近くをご近所さんがみんなで見つけてくれました!感謝感謝!



■保護猫サイトで探しました・・・父が見つけた猫はインターネットで一般社団法人 博多猫99ネットワークと言うサイトから連絡をもらって出会うことができたそうです。福岡市早良区の里親募集していた方を紹介していただき、ぜひ会ってください!ということで直接我が家に連れてきてくれたそうです。殺処分ゼロを目標に活動されているそうで、ワクチンなどは有料になりますが、ほぼ無料でのお取引を仲介してくれているそうです。素晴らしい活動にとっても驚きました!

■南片江のここら辺一帯を皆さんで捜索してくれました!

